



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2019年4月14日(日)9:30~12:00(曇り後雨)

参加者 一般:2名(うち子ども0名)、

指導員:7名

テーマ 「春の花や虫を観よう！」

公園内のソメイヨシノは既に満開を過ぎ、花ふぶきが舞っている候、春の花や虫を見て回りました。

この時期、木々は葉の展開、開花と目まぐるしく姿を変化させており、先月の観察会でまだ蕾だったハナノキなどは既に小さな実をつけています。

まずは先月から咲き始めていた川原のトサミズキの花の雄花と雌花を比べてみました。さらにその後大野極楽寺公園に植えられているヒュウガミズキのよく似た花と見比べ、葯の色や1つの花序につく花の数の違いを確認しました。

次にスミレの中間に注目してみました。堤防付近で一番目にするスミレは、葉柄の部分の翼が目立ちますが、やや小型のヒメスミレは葉柄の翼がほとんどなく、葉の裏が紫色を帯びたものが多く見られます。そのほか、大野極楽寺公園で白花のアリアケスミレが、また、138タワーパークのモクパラの大池周辺でタチツボスミレとニョイスミレが花をつけていて、結局、この日は5種類のスミレの中間を見ることができました。

虫はというと、曇天で気温も4月上旬並みと低く、飛んでいる蝶は多くありませんでしたが、それでもベニシジミ、ツバメシジミ、キタキチョウ、モンキチョウ、ツマキチョウの姿が確認できました。

途中で出会った人が、朝方、コマドリ、クロツグミ、オオルリ、センダイムシクイなどの夏鳥がいたと教えてくれましたが、回っている時には出会えず、代わりにツグミ、シメ、アオジなど冬にお馴染みの鳥たちをまだ見ることができました。

来月は新緑の中で夏鳥の姿や鳴き声を楽しめることでしょう。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

鳥:ツバメ、キジバト、ドバト、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ、シジュウカラ、ホオジロ、ハシボソガラス、トビ、アオサギ、カルガモ、ケリ、キジ(声)ウグイス(声)、イカル(声)

虫:セイヨウミツバチ、ヤマトシリアゲ

花:スズメノヤリ、アオスゲ、ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ、シロバナタンポポ、ヒメブタナ、メリケントキンソウ、ハルジオン、ヤブタバコ、オニタバコ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサ、コメツブツメクサ、シロツメクサ、アケビ、ホトケノザ、ヒメオソリコソウ、キランソウ、オオイヌノフグリ、ムラサキサギゴケ、ヒメウス、ムラサキケマン、セントウソウ、クサイチゴ、アメリカザイフリボク、ミヤマウグイスカグラ、ベニバナトキワマンサク



(アリアケスミレを観察中)



トサミズキ雄花



ヒュウガミズキ雌花



ヒメスミレ



スミレ